

特に記載がない場合の受付時間は土・日曜日、祝日、年末年始を除く午前8時30分～午後5時です。申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。

## 夏はやっぱり海！ 大島・子ども体験塾 参加者募集



市では「大島・子ども体験塾」をあきる野市と共同で行います。伊豆大島での登山・海水浴などを通じ、協力し合うことの大切さや喜びを楽しく学びます。

費用 1万2000円  
 ※保護者説明会時に集金します。  
 ※保護者説明会は、7月19日(水)に行います(保護者のみ)。  
 ※天候不良などによる欠航延泊費、保険範囲外の費用が別途かかる場合があります。  
 ※この事業は、多摩・島しょ広域連携活動助成金を受けて行うものです。  
 申込み 6月12日(月)まで(必着)に、申込用紙に必要事項を記入の上、郵送または直接、市役所2階子育て支援課児童青少年係へ 〒205-18601 (所在地記載不要)  
 ※申込用紙は、市役所2階子育て支援課、市内各小・中学校で配布するほか、市公式サイトからダウンロードすることができます。

**日時・プログラム**  
 ○事前活動 7月30日(日)  
 ○現地活動(伊豆大島) 8月12日(土)～14日(月)(2泊3日)  
 ▼三原山登山、海水浴、ふるさと体験など  
 ○事後活動 8月26日(土)  
**対象** 市内在住の小学校5年生～中学生で、全てのプログラムに参加でき、学校・地域などで青少年活動のリーダーとして活躍したい方  
**定員** 15人(羽村市・あきる野市合わせて30人。申込多数の場合は抽選)



問合せ 子育て支援課児童青少年係 (内) 263

## 羽村ゆとろぎ寄席 特別公演

旬の唄家が勢いよく！

9月1日(金) 開演：午後6時30分(開場：午後6時)



**出演** 春風亭かけ橋(落語)、春風亭昇也(落語)、三遊亭遊雀(落語)、玉川太福(浪曲)、ナイツ(漫才)、柳亭小痴楽(落語)  
**会場** プリモホールゆとろぎ大ホール  
**定員** 854人  
**チケット【全席指定】**  
 一般(前売) 2500円・(当日) 3000円  
 高校生以下1000円 ※未就学児入場不可  
**チケット販売** 6月3日(土)から  
**プレイガイド**  
 ○プリモホールゆとろぎ(午前9時～午後8時。祝日を除く月曜日休館)  
 ○西多摩新聞社チケットサービス ☎0120-0161-3737(午前10時～午後5時。土・日曜日定休)  
**インターネット販売** 左の二次元コードから



**問合せ** プリモホールゆとろぎ(生涯学習推進課) ☎570-0707

QRコード: ゆとろぎオンラインチケット, カンフェティ

状況により、施設が休館したり、事業などが変更・延期・中止になる場合があります。最新情報は、市公式サイト・各施設のウェブサイトなどで確認してください。

## 夏休み処分場見学会 参加者募集

夏休み恒例の処分場バス見学会を行います。皆さんの出したごみかどのように処理されているのか、確かめてみませんか。

回	日時	見学施設	集合・解散場所
1	7月27日(木) 午前8時30分～午後5時30分	八王子市館クリーンセンター・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場	JR 中央線 八王子駅南口
2	8月3日(木) 午前8時15分～午後6時10分	クリーンセンター多摩川・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場	JR 中央線 武蔵小金井駅南口
3	8月8日(火) 午前8時30分～午後5時5分	西多摩衛生組合環境センター・二ツ塚処分場・谷戸沢処分場	JR 青梅線 昭島駅南口

※詳しい集合場所、集合時間は、当選者にお知らせします。  
 ※集合場所から各施設までは、大型バスで移動します。

**対象** 多摩地域に在住・在勤・在学の方  
**参加費** 1人500円(昼食代)  
 ※当日集金します。  
**定員** 各回30人(申込多数の場合は抽選。抽選結果は別途通知します)  
**申込み** 7月3日(月)まで(必着)に、循環組合ウェブサイト「夏休み処分場見学会申込みフォーム」、または、はがきに「夏休み処分場見学会参加希望」と記入の上、参加する方全員の「①氏名(ふりがな)、②年齢、③郵便番号・住所、④電話番号(日中連絡のとれる番号)、⑤参加希望日」を記入して郵送  
**宛先** 〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642番地 東京たま広域資源循環組合「夏休み処分場見学会」係  
 ※詳しくは循環組合ウェブサイトを確認するか問い合わせください。  
**問合せ** 東京たま広域資源循環組合 ☎597-16152  
 ※当日は写真の撮影やインタビューに協力していただくことがあります。



▲循環組合ウェブサイト

## 羽村の水道の始まり

羽村市の水道の始まりは、昭和36(1961)年2月。  
 当時は昭和31年の町制施行(人口1万104人)により、「西多摩村」から「羽村町」となっていた間もなく、1万2千人に給水する計画で水道事業が開始されました。  
 創設時は、深さ185～192mの市内2か所の深井戸からポンプで汲み上げていましたが、都市化が急速に進み、増大する水需要に対応するため施設整備や事業拡張、取水井戸の変更などを行ってきました。  
 現在は、多摩川に近い深さ約7～10mの3か所の浅井戸から豊富に湧く清澄な地下水を汲み上げ、水道水として日々家庭や事業所にお届けしています。



▲水道事務所敷地内にある第1号の井戸

## 配水塔(水道事務所)の見学を再開します

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた配水塔(高さ34m)の見学を7月から再開します。希望する方は水道事務所当日、受付けをしてください。

**実施日** 原則毎月1日  
 ※土・日曜日、祝日の場合は翌営業日(年始を除く)  
 ※天候不良などにより中止になる場合があります。



おいしい羽村の水を知ろう①

問合せ 水道事務所 ☎554-2269